

## 第40回「全日本少年軟式野球京都府大会」特別規則と大会注意事項

- (1) 競技規則は2022年度公認野球規則及び全日本軟式野球連盟の内規を適用する。
- (2) 代表者会議で説明または決定された事項は、チーム全員に徹底させること。
- (3) ベンチは、組合せ番号の若い方を一塁側とする。
- (4) 代表者、監督、コーチは京都府内在籍の社会人に限る。なお、監督が代表者を兼ねてもよい。
- (5) ベンチに入れる人員は、登録されユニフォームを着用した監督30番、コーチ29番・28番及び選手20名以内と、チーム代表者、マネージャー、スコアラー、トレーナー(有資格者)各1名とする。  
ただし、監督、コーチは成人者でなければならない。
- (6) 次の試合を行うチームは試合開始予定時刻60分前までに集合し、大会本部より所定の打順表を受領し、参加申込書を基に作成(氏名フルネーム、ふりがな、登録選手全員を記入)し、指示された時刻に監督と主将が大会本部に提出し攻守決定を行うこと。
- (7) 試合開始予定時刻前でも前の試合が早く終了した場合は直ちに次の試合を開始する。
- (8) 試合開始予定時刻になっても、球場に来ない場合は原則として棄権とみなす。
- (9) 小雨の場合でも日程の都合上、球場が使用可能な状態の場合は試合を行う。
- (10) 正式試合成立以前に暗黒、降雨等により、試合を中止した場合、特別継続試合として後日行う。
- (11) 本大会の試合回数は7回(ただし、決勝戦以外は1時間20分以降新しいイニングには入らない)とする。  
7回完了または時間打ち切りで勝敗の決しないときは、投手の投球制限を遵守の上、タイブレーク方式(0アウト一塁・二塁:継続打順)を最長2イニングまで行い、なお勝敗が決しないときは、最終メンバー9名による抽選とする。決勝戦については、1時間40分以降新しいイニングに入らないとし、勝敗の決しないときは、投手の投球制限を遵守の上、タイブレーク方式(0アウト一塁・二塁:継続打順)を勝敗が決するまで行う。全試合、5回以降7点差がある場合はコールドゲームを採用する。
- (12) 大会使用球は、連盟公認 M 号球(ケンコーボール)を使用する。
- (13) 捕手は必ず連盟公認のマスク(スロートガード付)、レガーズ、プロテクター、ヘルメット、ファウルカップを着用しなければならない。なお、捕手用ヘルメットとマスクの一体製品は使用禁止とする。
- (14) 打者、次打者、走者及びベースコーチは連盟公認のヘルメット(SGマーク付)を着用すること。
- (15) 金属バットおよびハイコン(複合)バットは、連盟公認(JSBBマーク付き)のものに限り使用できる。
- (16) 同一チームの各プレーヤー、監督、コーチは同色、同形、同意匠のユニフォーム(帽子、アンダーシャツ・ストッキングを含む)を着用しなければならない。  
(イ) 両袖は同一の長さで、左袖には”京都”または”KYOTO”をつけなければならない。  
(ロ) 背番号は監督30番、コーチ29番・28番、主将10番、選手は0番から99番迄の数字であること。
- (17) タイムはプレーヤーの要求したときでなく、審判員が認めたときである。
- (18) 抗議権を有する者は監督または当該のプレーヤーのみとする。(ルールの適用を誤ったときだけ)
- (19) どんな方法であろうと相手チームのプレーヤー及び審判員に対し、悪口暴言を吐くことを禁じる。
- (20) 選手及び応援団の行動については、当該チームが一切その責任を負うものとする。
- (21) 参加申込書提出後は選手の追加及び背番号の変更は認めない。
- (22) 本大会において完全試合を樹立した投手を表彰する。

- ※ 大会に対して不正を行ったチームは次の措置を取る。
1. 出場資格に不正があったとは(二重登録の選手、登録外の選手、一度退いた選手が再び出場した)
    - A 試合中に発見された場合は、相手方に勝利を与える。
    - B 試合終了後に発見された場合は、次の相手に勝利を与える。
    - C 決勝戦終了後に発見された場合は、準優勝者に勝利を与える。  
なお、出場資格に違反が生じた場合は、試合の終了後に違反を証明する書類を添えて大会本部へ異議申し立てをすること。
  2. 大会中不測の事故など、トラブルが生じた場合は、大会本部の決定に従わないチームは失格とすることがある。
  3. 不正登録をしたり、試合の際に登録外の不正選手を出場させたチームは、直ちに失格になるとともに、そのチームの代表者、監督、コーチ、スコアラー、マネージャー、トレーナーは、事由発生日から1年間少年軟式野球に登録することはできない。

### ※ 投手の投球数制限に関する全日本軟式野球連盟特別規則

- ① 肘、肩の障害予防として、投球できる数を一人1日100球以内、1週間350球以内とする。  
試合中規定投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するか、攻守交代まで投球できる。
- ② 本大会では、投球数の管理はチーム自らが行う。

### ※ 雨天時の問い合わせ先電話(午前7時以降)

携帯電話 ① 横大路 090-3942-6550 ② 横大路 090-3942-8660 ③ 殿田 090-2598-2699  
(一社)京都軟式野球連盟 事務局(平日のみ) 075-671-6644

### ※ 試合結果の問い合わせ先電話(午前10時～午後5時まで)

携帯電話 090-2598-2699 連盟HP <http://www10.plala.or.jp/ksbb/>(京都軟式野球連盟)

### ※ 雨天等により日程を変更する場合がありますので、必ず電話またはHPで

確認してください。  
(一社)京都軟式野球連盟

【お願い】 各会場とも駐車場が狭いのでできるだけ公共交通機関をご利用願います。  
会場の駐車場が満車の場合は、有料駐車場をご利用願います。(周辺路上駐車禁止)  
試合終了後、ベンチ周辺の清掃を行い、ゴミ、紙くずは持ち帰って下さい。